

あきばさん

発行人／発行所
秋葉山 新井 寺
272-0144
千葉県市川市新井
1丁目9の1
電話047-357-8319
FAX 047-357-8399
mail: info@shinseiji.jp
http://www.shinseiji.jp
郵便振替00150-2-282968

盆月にちなんで

当山住持



「遠州風鈴まつり」

山門からご本堂まで色とりどり約二千個の風鈴が涼感を演出している

於、可睡齋（静岡県袋井市）

猛暑の到来と共に、ご先祖様の伝統行事「お盆の季節」の訪れです。人間社会は生死の流れの中にあつて、時々刻々と多くの方が逝去されています。ふり返ってみますと、ご葬儀の際、檀信徒の皆様方はそれぞれに、菩提寺よりご戒名を授戒されます。

そのご戒名の頭に「新帰元しんきげん」という仏教の言葉が用いられているのをご存知でしょうか。当山では、ご戒名を授与するときには必ず、住職がこの新帰元についてご説明しております。すなわち、「新帰元」とは、新たに元の世界に帰られるということ、新ぼとけ様は、天寿をまっとうされて、元の世界に帰られるということ、身体的にはお亡くなりになっても、心の中には永遠に生きておられます。元の世界に帰って生きておられるからこそ、皆様方は、自分たちの命の源であるご先祖様に、感謝報恩の念おもいをもって、生前と同じ

曹洞宗

テレホン法話

週替わりで和尚さんの法話を聞くことができます

0120

508-740

7/17～23は

「おかげさま」

当山副住職が
担当します

ように、またそれ以上にご供養をつとめ、この上ない功德を積まれるわけです。

一般的には、人様は人様のご逝去にあつたつて、「亡くなった」とか、「死んだ」とか、寂しく悲しい言葉を使われたり、耳にされたりするかと存じますが、心の世界では、元の世界に帰られて生きておられます。この故に、ご仏縁をたまわり、ご先祖様へのご供養とあわせて、自分自身も人生の平安に向かって心の修養に精進いたします。それが、

「願ねがわくは この功德くどくを以て 普あまねく一切いっさいに及およぼし 我等われらと衆生しゆじやうと皆共に 仏道ぶつどうを成じやうぜんことを」ということです。

盆月にちなみ、どうか皆様方も、それぞれのご先祖様を「生きたほとけ様」としておもいを込め、感謝報恩のご供養に親しまれてください。さらにはこれまで以上に、ご自身の平安への正しい信仰心を高められますように。

どうぞ、ご精進ください。 合掌

恐山 おそれざん 死者の想いを預ける場所

今秋、二泊三日の日程で日本三大霊山（青森県・恐山・滋賀県・比叡山・和歌山県・高野山）のひとつ「恐山 菩提寺」を参拝する旅行を企画しました。恐山とはどんなところなのか、調べてみました。

● 恐山 菩提寺

恐山は、下北半島の中心むつ市にある「恐山 菩提寺（おそれざん ぼだいじ）」という曹洞宗のお寺です。「恐山」という山があるのではなく、「宇曾利山湖（うそりやまこ）」というカルデラ湖とその湖を囲む八つの峰の総称です。境内の総面積は二十二万五千坪とも。



恐山の開山期間は5月1日から10月末日まで。年間約20万人が訪れる。7月20日～24日までは夏の大祭が、10月上旬の三連休には秋詣りが行なわれ、「イタコの口寄せ」も聞くことができます。



山門前のお地藏様と風車
「風車」は幼くして亡くなった子どもの供養のためだとか

「恐山」と聞くと、おどろおどろしい景色を想像する人も多いと思います。「三途の川」と名づけられた川を渡れば、まさに「あの世」の世界。「賽の河原」や「血の池地獄」「無間地獄」など、「八大地獄」に見立てた場所もあり、荒涼とした風景が広がっています。その先にある白砂の浜「極楽浜」からは、神秘的に美しく輝く宇曾利山湖を見渡すことができます。さらに、境内には、乳白色をした「源泉かけ流し」のとても良質な温泉（四つの外湯と宿坊内の大浴場）も美肌や神経痛、リウマチなどに効能があるそうです。

● 恐山のはじまりと歴史

伝承によると、恐山は八六二年、慈覚大師（じかくだいし）円仁（えんにん）によって開かれました。円仁は、天台宗を開いた伝教大師（でんきょうだいし）最澄（さいしょう）の弟子で、中国で密教学び、天台座主（ざす）もつとめた高僧といわれます。円仁が中国唐で修行中のこと、「国へ帰り、東方へ三十日ほどのところに霊山がある。そこで一体の地藏菩薩を彫り、仏教を広めよ」と夢のお告げがありました。帰国した円仁が、その霊場を探し求めたのが恐山だったのです。円仁は、お告げにしたがい、六尺三寸のお地藏様を彫ってお祀りし、仏教を広めました。円仁が彫ったお地藏様は、現在、地藏堂に祀られていると伝えられています。その後、十五世紀頃には兵乱により荒廃し、多くの建物を失いますが、一五三〇年に、吉祥山（きちじょうざん）円通寺（えんつうじ・むつ市）の開山宏智聚覚（わんしじゅかく）が再興しました。円通寺は、下北半島に現続する最古のお寺で、再興されて以来、恐山を管理しています。十八世紀には、「死者供養の地」となっていたと考えられています。また、「地藏菩薩の靈験」を効能とした境内に湧く温泉には、多くの人が「湯治」に訪れていたようです。さらに、近世には、商売繁盛や航海安全を祈願する、北前船の船主たちが詣でる姿もみられたといわれています。

● パワーレススポット

● 死者の想いを預ける場所

恐山は「死者供養の地」といわれます。それは、何を意味するのか。恐山の和尚様の言葉に学んでみたいと思います。

● 霊場恐山は千二百年の間、「もう一度会いたい 声がかきたい」「また会いに来るからね」という死者への想いによって支えられてきたのです。その想いが地層のように積み重なり、それが形になった場所が恐山なのです。

● ただ、死者への想いの断片が、そこかしこにあつて、人によっては死のイメージの累々たるを感じ取るでしょう。そして、そこにすべてを受け止め、手を差し伸べてくれるお地藏様がいて、仏教があるのです。亡き人と思う人々の感情をひたすら受け入れるだけのむしろ「パワーレススポット」なんですよ。

● 恐山にある信仰というのは、特定の教義では決して割り切れるものではないのです。・中略・だからこそ恐山は、これだけ多くの人を分け隔てなく集めることに成功したのでしょう。そして現世利益、死者供養の場所として発展していった。生活の安楽を願う、死者を想う。それが叶えば、そこを守る神様仏様が何であるかは問わない。

● 死者に会いに行ける場所であると同時に、それぞれがそれぞれのやり方で自分たちと死者との適切な距離を作るこゝとができる場所でもある。

● 東日本大震災慰霊塔

「鎮魂の鐘」と「希望の鐘」

コバルトブルー色に神秘的に輝く宇曾利山湖を背にした「極楽浜」に、平成二十四(二〇一二年)七月二十二日、地藏菩薩尊像が開眼されました。東日本大震災犠牲者追悼のための慰霊塔です。

白い御影石(みかげいし)でつくられた高さ約三メートルの慰霊塔。背面には、大小六十の「手形」のくぼみがあります。自分の手に合うかたちの手形に自分の



東日本大震災慰霊塔

手を重ねて、犠牲者へのおもいを深めてほしいというご住職のねがいが込められています。

また、お地藏様の前には「鎮魂の鐘」と「希望の鐘」がつけられました。ご住職は、この鐘について語られています。

「今は、夢や希望を持ちにくい時代かもしれません。しかし、やはりあえて「希望」といいたいです。私は、こゝへおいでになり、手を合わせて一心に願う人々の姿をずっと見てきました。なぜ、それほど熱く願うのでしょうか。希望をかけられるからこそ願うのではないのでしょうか。そしてそれが本当に叶えられるなら、最高ではありませんか」。

「百聞は一見にしかず」。ぜひ、ご一緒にお参りしましょう。皆様のご参加をお待ちしております。(編集子しるす)

※ 参考文献

- 曹洞宗宗務庁『禅の風』第四十号
- 南直哉『恐山 死者のいる場所』

「恐山菩提寺」他

みちのくの名刹を訪ねる旅

◎ 旅程・旅費などの詳細は

お気軽におたずねください

ご参加をお待ちしております

おはなのおはなし

みなさまからの

ご質問ベスト5



①なぜ生花をお供えするのですか。

枯れていく花の姿を人生になぞらえるということと、花をお供えするということで仏様とのつながりを保つという意味があると言われています。つまり、造花ではみることができない開花し枯れるという一連の流れにこそ、生花をお供えする意味があります。

②白や淡い色を基調とした花が好ましいですか。

四十九日まででは白や淡い色を基調とした花が好ましいといわれるのは、ご遺族の悲しみに寄り添うという意味が強いと思います。「赤い花」が好きだった方で、真っ赤なチューリップの花束を旅立ちの花とされたこともあります。

③お墓にオスメのお花はありますか。

墓石の色に合わせるといいうのも、一案です。「もつから菊でー!」という方もいらつしやいますが、お墓の花筒は水があまり入らないので、残念ながらどんな花を入れても、そんなにはもちません。日もちよるも、気に入ったお花をお供えすることをオスメします。

④花屋 秋葉山で買ったお墓の花は、どれくらい日もちしますか。

水があれば、年間平均 三日程度はもちます。冬は凍らなければ十日程度もつものもあります。新井寺と松戸聖地霊園では、ご購入後、一度はお墓の花に水を足していただきますので、あげてすぐに枯れるということはまずありません。

⑤仏様にお供えする 一番好ましい花はなんですか。

「この花をあげたい!」と思う花です。諸説ありますので、一概には言えませんが、これまでの経験と今までお会いした和尚さん方のお話をもとに、みなさまからのご質問の答えをまとめてみました。

夏の暑い日には、生花を買うことは不経済のように思ってしまうかもしれません。しかし、仏花は「生花」であることに意味があります。また、大切な人に届くものは形に残るキレイなお花よりも、お花をお供えしてくれた人の目には見えない気持ちではないでしょうか。こんなに暑い日によくお墓参りにきてくれた、こんなにキレイなお花を自分を選んでくれた、そんな気持ちが仏様にはきつと届いているはずです。

(花屋 秋葉山 店主しるす)

編集後記

この不完全な私が
順縁 逆縁
あらゆる人びとから
お育てをいただく

ここは仏捨てたまわざる世界

榎本栄一



梅花流特派師範を拝命して二年目を迎えました。今年度は、六月に宮城県を、十月に埼玉県、三重県をそれぞれ約一週間の日程で巡回させていただくことになっていきます。

見知らぬ土地での、見知らぬ方々への講習は、未熟さに極度の緊張も加わり、お唱えも、お話も、万事がままならず、実におぼつかないものです。反省は尽きず、詠讃歌をたのしむどころか、心が折れてしまうことも少なくありません。けれども、よろこばしい出会いも、心が折れてしまうような経験も、すべてが自分自身を育ててくださったご縁といただくことができたとき、あらゆるおもいが感謝の気持ちに転じられるのだと気づきました。この感謝の気持ちをたいせつにあたためていくことが、自分を励ますこととなるのだらうと思えます。

西日本豪雨災害に被災されたみなさまに心から御見舞いを申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。

今夏も暑くなりそうです。冷房病と熱中症にはくれぐれもご留意の上、ご自愛くださいませ。

編集小子 合掌